

されるのみである。今回脳内髄膜腫と原始遺残三叉動脈との合併例を経験し、若干の文献的考察を加え報告する。

C-5-2) 高齢者脳腫瘍の1治験例

畑中 光昭 (十和田市立中央
病院脳神経外科)
善積 威 (弘前大学脳神経
外科)

目的：一般外科では90才以上の手術もまれではないが、脳神経外科領域では慢性硬膜下血腫以外は未だ稀なものと思われる。我々は最近、92才の left frontal meningioma の摘出を行う事ができたので報告する。症例：92才、女性。主訴は言語障害と右上下肢脱力。既往歴は高血圧、白内障、右上下肢神経痛、1990年12月初めより上記症状が出現した。CTにて left frontal に homogenous high density と perifocal low density, midline shift が認められた。手術を目的として入院したが、軽度心肥大、老人性肺気腫があり、入院後気管支炎を合併したため約4週間の合併症治療後に開頭術を施行した。手術は brain damage もなく intra-capsular に全摘できたが、術後一過性に言語障害の増強が見られ、10日後に消失し、3週間で独歩退院した。まとめ：高齢者の meningioma を経験したが、頭蓋内の問題より、全身的合併症、社会的には家族の受け入れ体制が重要である。

C-5-3) 小児視神経鞘髄膜腫の1例

山崎 英俊・武田 憲夫
恩田 清・西山 健一 (新潟大学脳研究所)
田中 隆一 (脳神経外科)

視神経鞘髄膜腫は稀なものであるが、中でも乳幼児例は極めて少なく、我々が文献で検索し得た限りでは6例にすぎない。今回我々は3才女児の視神経鞘髄膜腫の1例を経験したので報告する。症例は、右眼球突出にて眼科を受診し CT scan で眼窩内腫瘍を認められ当科に紹介された。受診時右視力消失及び眼球突出を認め、頭蓋単純写で右視神経管の拡大があった。CT scan では視神経は紡錘状に腫大し単純では等吸収で軽度造影効果を認めた。眼球に接して一部突出した低吸収域も認められた。MRI では、視神経管から頭蓋内に一部進展し、T1で iso-intensity, T2 では high-intensity を取り囲むように low-intensity を認める特異な2層構造を示し Gd で enhance された。脳血管写では、腫瘍陰影は認めなかった。手術所見では腫瘍は視神経鞘で包まれた硬いも

ので、その外側に薄くなった視神経が認められた。病理組織診断は、meningothelial meningioma であった。

C-5-4) 出血を繰り返した menigeal sarcoma の1例

大橋 雅広・伊東正太郎 (市立砺波総合病院)
高田 久 (脳神経外科)
竹内 文彦 (金沢医科大学
脳神経外科)

症例は62才女性。4年前他院にて右前頭頭頂部の angioblastic meningioma の診断で腫瘍摘出術・放射線治療の既往がある。平成1年12月21日右大脳半球裂の出血で発症。CT、血管写でも出血源となる病変は認めず手術所見は右大脳半球裂硬膜下血腫・脳内血腫であった。術後の MRI でも出血源となる病変は認めなかった。平成2年4月頃より、CT 上前頭部大脳鎌に小さな腫瘍性病変が出現し次第に増大してきた。7月14日大脳鎌に接した右後頭葉に脳内血腫を認め緊急手術施行。手術時大脳鎌に易出血性の小さい腫瘍性病変みられ出血源と考えたが、病変が小さく組織診断には至らなかった。その後大脳鎌の腫瘍は増大・多発性となり、平成3年2月5日に右前頭頭頂部、20日に左前頭部の腫瘍から出血し、それぞれ腫瘍摘出術・血腫除去術を施行。組織診断は meningeal sarcoma であった。これまでの出血はいずれも本腫瘍からの出血と診断した。以上の経過を若干の文献的考察を加えて報告する。

C-6-1) 下垂体腺腫の海綿静脈洞内側方進展の形式とその診断

田辺 純嘉・端 和夫 (札幌医科大学
脳神経外科)

下垂体腺腫の側方進展には、cavernous sinus extension, extradural subcavernous extension, intradural supracavernous extension がある。海綿静脈洞内進展はさらに、①内頸動脈海綿静脈洞部の上方へ進展するもの、②この下方へ進展するもの、③内頸動脈を取り囲むものに分けられるが、これらの鑑別は CT では困難である。我々は海綿静脈洞内への進展様式が MRI によって判定可能か否かについて検討したので報告する。

症例は Signa Advantage (1.5T) を使用し、下垂体 MRI を施行した45例(下垂体腺腫33例、ラトケ嚢胞5例、その他7例)である。

MR 画像は coronal と axial image の Gd-DTPA T1